

## 原 丈人先生プロフィール

DEFTA PARTNERS グループ会長  
アライアンス・フォーラム財団 代表理事  
日本国政府 財務省 参与  
国際連合 経済社会理事会常任諮問団大使  
国連 WAFUNIF 代表大使

1952 年(昭和 27)大阪生まれ。欧米を拠点にする日本人実業家。慶應義塾大学法学部を卒業後、中央アメリカの考古学研究に従事する。考古学資金づくりのために、79 年スタンフォード大学経営学大学院へ入学、国連フェローを経て、81 年、同大学工学部大学院修了(工学修士)。在学中に光ファイバー事業を起業して成功。

84 年デフタ・パートナーズを創業、主に情報通信技術分野でベンチャー企業への出資と経営に携わり、1990 年代にマイクロソフトと覇を競ったボーランド、ピクチャーテル、SCO、ユニファイ、トレイックスなど十数社を会長、社外取締役として成功に導いた。

米大手 VC のアクセル・パートナーズのパートナーも兼務し 90 年代にかけてのシリコンバレーを代表するベンチャーキャピタリストの一人となった。2000 年からは、欧米を中心にオープラス・セミコンダクター(2005 年インテルと合併)や、XVD テクノロジーの会長、ブロードウェア(2007 年シスコと合併)、フォーティネットの社外取締役として、ポスト・コンピュータ分野(PUC)での事業経営を行う。

地元サンフランシスコでは、日米講和条約 50 周年記念式典ガラ共同議長、サンフランシスコ・オペラ、サンフランシスコ市立動物園、サンフランシスコ大学、ジャパソサエティーなどの理事を務めた。また 2003 年に共和党全国委員会からビジネス・リーダーシップ・アワードを授与され、同年、共和党ビジネス・アドバイザー・カウンシル名誉共同議長に就任。さらに、共和党ゴールド・メダルにノミネートされた(辞退)。

一方、日本政府の財務省参与、首相諮問機関の政府税制調査会特別委員、産業構造審議会、総務大臣 ICT 懇談会などの政府委員などを務め、税率を減らしながら税収を増やすことによって我が国の財政再建を目指す。

また、DEFTA の率いる企業群が開発した技術を使って発展途上国の情報インフラを整備し、識字率、医療衛生状態の改善に関心を持ち、これを実際に行うために 2005 年バングラデシュに、現地の NGO の BRAC と合併会社のブラックネット社を設立した。先端技術を使うことによって低コストで効率よく事業を起し、その収益をもって途上国の支援に当てるビジネスモデルは、「民間による ODA 補完の仕組み」として、世界銀行が目出し、2008 年の報告書に将来の有効な支援モデルとして盛り込まれた。

同時に国連経済社会理事会常任諮問団 IIMSAM 特命全権大使(~2009 年 1 月)や国連 ONG WAFUNIF 代表大使(後発発展途上国担当)を務めるなど、途上国にとって日本がなくてはならない国となるための活動を行う。著書に『21 世紀の国富論』(平凡社)、『新しい資本主義』(PHP 新書)がある。